

農産物の残留農薬検査結果(令和元年8月～10月)

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和元年8月～10月上旬に健康福祉局食品専門監視班及び各区福祉保健センターが収去した農産物の検査結果を報告します。

・市内産農産物

8月に収去された、なす(4検体)、日本なし、ぶどう(各2検体)及びじゃがいも(1検体)の計9検体、9月に収去された、こまつな(5検体)、なす(3検体)、さつまいも、とうがん(各2検体)、きゅうり及びじゃがいも(各1検体)の計14検体、10月上旬に収去された、さつまいも、じゃがいも、とうがん(各2検体)、キャベツ、きゅうり、こまつな及びさといも(各1検体)の計10検体、合計33検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。こまつな、日本なし及びぶどう各2検体、きゅうり1検体から延べ13項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 残留農薬検査結果

(令和元年8月～10月上旬)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
市内産農産物						
キャベツ	横浜市	1	0			
きゅうり	横浜市	2	1	* クロチアニジン	0.02	2
				* プロフェジン	0.03	1
こまつな	横浜市	6	2	シペルメトリン	0.07	5.0
				メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	1
さつまいも	横浜市	4	0			
さといも	横浜市	1	0			
じゃがいも	横浜市	4	0			
とうがん	横浜市	4	0			
なす	横浜市	7	0			
日本なし	横浜市	2	2	* チアメキサム	0.03	1
				* ボスカリド	0.04	3
				* クレソキシムメチル	0.01	5
				* チアメキサム	0.08	1
				* テブコナゾール	0.02	5
ぶどう	横浜市	2	2	イミダクロプリド	0.03	3
				* ファモキサドン	0.15	2
				* ペルメトリン	0.19	5.0
				メタラキシル及びメフェノキサム	0.04	1

*中括弧({})は同一検体からの検出

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
BHC(α, β, γ 及び δ の和)	0.005	○	—	○	○	イソキサチオン	0.01	—	○	○	○
DDT(DDE,DDD,DDTの和)	0.005	○	○	○	○	イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	エトキサゾール	0.01	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	○	エトフェンプロックス	0.01	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	エポキシコナゾール	0.01	○	○	○	○
アラクロール	0.01	○	○	○	○	エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	○	○	○	○
アルドリノ及びディルドリン	0.005	○	—	○	○	エンドリン	0.005	○	○	○	○

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物			
		A	B	C	D			A	B	C	D
オキサミル	0.01	○	○	○	○	ピリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○
カルバリル	0.01	○	○	○	○	ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○
カルプロパミド	0.01	○	○	○	—	ファモキサドン	0.01	○	○	○	○
クミルロン	0.01	○	○	○	○	フィプロニル	0.002	○	○	○	○
クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○	フェナリモル	0.01	○	○	○	○
クロチアニジン	0.01	○	○	○	—	フェントロチオン	0.01	○	○	○	○
クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○
クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○
クロルプロファミ	0.01	○	○	○	○	フェンバレレート	0.01	○	○	○	○
クロロクソン	0.01	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	—	フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	—
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	フェンプロパトリン	0.01	○	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○
ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○	○	○
シハロトリン	0.01	○	○	○	○	フルジオキシニル	0.01	○	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	—	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○
シフルトリン	0.01	○	○	○	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	—	○	フルバリネート	0.01	○	○	○	○
シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○	フルフェノクソン	0.01	○	○	○	○
シペルメトリン	0.01	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○
ジメエート	0.01	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○
ジメモルフ	0.01	○	○	○	—	プロチオホス	0.01	○	○	○	○
シラフルオフエン	0.01	○	○	○	○	プロパホス	0.01	○	○	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○
チアクロプリド	0.01	○	○	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○	○	○
チアメキサム	0.01	○	—	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	ヘプタクロル(エボキシドを含む)	0.005	○	—	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	ペンコナゾール	0.01	○	○	○	○
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○
トリアゾホス	0.01	○	○	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	○
トリコナゾール	0.01	○	○	○	—	ボスカリド	0.01	○	○	—	○
トリフルラリン	0.01	○	—	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	—
トリフロキシストロビン	0.01	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	マイクロブタニル	0.01	○	○	○	○
トルフェンピラド	0.01	○	○	○	—	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○
ノバルロン	0.01	○	○	○	○	メチダチオン	0.01	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	メトラクロール	0.01	○	○	○	○
ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○
ピリダベン	0.01	○	○	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.005	○	○	○	○
ピリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○	ルフェヌロン	0.01	○	○	○	○
ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○

A:こまつな B:キャベツ、きゅうり、とうがん、なす C:さつまいも、さといも、じゃがいも D:日本なし、ぶどう

○:実施、—:実施せず

DDT: p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT 及び p,p' -DDT の和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】